

1年生

1月の学校教育重点目標『体をきたえ元気な子』

【寒さに負けずに体を鍛えています】

1月は縄跳び旬間がありました。「なわとびカード」に色を塗りながら、いろいろな跳び方に意欲的に取り組んでいました。学習の当初は、長く跳ぶことができなかったり、簡単な技しかできなったりしましたが、友達同士で励ましあいながら粘り強く練習に取り組むことで、長く跳ぶことができるようになったり、難しい技も成功したりするようになりました。「前は、あまり跳べなかったけど、だんだん跳べるようになってきた。」等、自分の成長を感じながら、前向きな気持ちで取り組んだ成果を振り返る姿が見られました。練習してもすぐには技の習得ができないときもありましたが、友達同士、励まし合いながら粘り強く練習している姿に感心しました。体育館の体育では、跳び箱遊びに取り組んでいます。安全に気を付けて、跳び箱の場を作ったり、友達同士でお互いの技を見合ったりして、楽しく体を動かしています。ほかにも熊歩きやうさぎ跳び等、体のいろいろな部位を使う動きを行っています。2月、3月も引き続き、体を動かす楽しさを感じながら、体も心も鍛えていきます。



2月の学校教育重点目標は、『心豊かで思いやりのある子』です。

2年生

1月の学校教育重点目標 『体をきたえ元気な子』



【自分のペースで】



1月に行ったペースランニング旬間にあわせ、体育の時間にペースランニングを行う時もあります。ペースランニングでは、低学年は音楽に合わせ、約3分間走ります。走ることに苦手意識をもっていた子も、友達と一緒に自分のペースで楽しみながら走る姿が見られるようになりました。

また、1月は縄跳び旬間がありました。子どもたちは毎日休み時間に校庭に出て、できない技に挑戦したり、縄跳びカードにない技にも取り組んでみたりと、意欲的に取り組む姿が見られました。何度も練習を重ねてできるようになった技を「先生、見て！」と、嬉しそうに披露してくれました。

楽しみながら体を動かすことができるよう、これからも様々な取り組みを行っていきます。



2月の学校教育重点目標は、『心豊かで思いやりのある子』です。

3年生

1月の学校教育重点目標『体をきたえ元気な子』

【共に高め合い、心をつなぐベースボール型ゲーム】

今年度は、昨年のタグラグビーで育んだ「協調性」と「思いやりの心」を基盤に、ベースボール型ゲームに取り組んでいます。子どもたちは、肘を上げるなどの技能向上に励むだけでなく、仲間と守備位置を工夫し、声を掛け合いながら試合を進めています。特に、ミスを責めるのではなく、不安そうな友達に「大丈夫だよ」と寄り添ったり、ベンチから熱心に応援したりする姿が見られました。技能の習得と温かい言葉掛けが両立し、互いを尊重し合える集団へと成長しています。



2月の学校教育重点目標は、『心豊かで思いやりのある子』です。

4年生

1月の学校教育重点目標 『体をきたえ元気な子』

【～縄跳びで心も身体もぽかぽかに～】

1月に体力向上の取り組みの一環で「なわとび旬間」を行いました。縄跳びカードを基に、新しい技に挑戦したり、今できる技を続けてできるようにしたり、自分で目標を立てて取り組みました。目標に向かって、粘り強く取り組む姿は、とても素敵です。難しい技はすぐにできるものではなく、こつをつかむのに時間がかかります。しかし、そこで諦めることなく学年割り当てのある時間はもちろん、そうでない時間も積極的に校庭に出て練習に励んでいる子がたくさんいます。粘り強く取り組んでいるからこそ、少しでも技が上達したときの達成感は大きいものです。「見て！二重跳びができるようになった！」「この前30回だった前振り跳びが50回跳べたよ。」と満面の笑みで報告してくれます。

また、かっこよく二重跳びができる高学年には「すごい！どうやってやるの？」とこつを教えてもらったり、低学年と「一緒にやろう。」と誘い合って練習したりする姿も見られます。寒い日が続いているが、休み時間、一生懸命に縄跳びの練習をした子どもたちの身体と心は、ぽかぽかになっています。縄跳び旬間後も、体育の学習を中心に、心と身体をきたえ元気な子を目指して声を掛けていきます。



5年生

1月の学校教育重点目標 『体をきたえ元気な子』

【体の動きを高める運動（持久走・なわとび）】

1月のなわとび旬間では、個人のめあてを明確にして取り組みました。寒さが厳しい中でも、校庭の割り当て時間になると声を掛け合って、励まし合いながら外に出る姿が素敵でした。また、割り当て時間でなくも外に出て取り組みたいと、すすんで挑戦する姿も見られるようになりました、高学年としても頼もしさも見られるようになりました。

粘り強く練習に取り組んだり、技のコツを教え合ったりする姿、友達と競い合うように楽しむ姿等、主体的になわとびに親しむ姿が見られました。努力が結果につながることで、成長を実感することができました。



3月の学校教育重点目標は、『自分で考え行動する子』です。

6年生

1月の学校教育重点目標『体をきたえ元気な子』

【ペースランニング・なわ跳びで体力向上】

体の動きを高める運動として、体育の授業や休み時間、ペースランニング（持久走）や短なわ跳びに取り組みました。ペースランニングでは、自分に合ったペース（無理のない速さ）をつかむことを意識して取り組み、回数を重ねていくにつれて、運動後の心地よさを実感していました。短なわ跳びでは、自分が立てた目標を達成するために、友達と教え合ったり競い合ったりしながら練習に励みました。練習当初に比べ、できる技が増えたり回数を伸ばしたりと、上達した姿が見られます。

2学期に学習した保健「病気の予防」では、より良い生活習慣（適切な運動、バランスのよい食事、十分な休養）が、病気を予防するために大切であることを学びました。これから体力向上や健康について、ご家庭でも話題にしていただくよう、よろしくお願ひします。



2月の学校教育重点目標は、『心豊かで思いやりのある子』です。

あおぞら

1月学校教育重点目標『体をきたえ元気な子』

1月19日から縄跳び旬間が始まりました。Aグループでは、子どもたちの意欲を高めるため「楽しく跳ぶ」ことをキーワードにして、練習に取り組みました。また、縄跳びカードも跳べた回数だけ色を塗り、塗り終わると次のステージに行けるようにしています。「次のステージはどうなっているのか見てみたい」「どんどん回数を重ねたい」という思いから、休み時間になると主体的に縄跳び練習に参加する児童の姿が見られました。Bグループは、縄跳びカードを元に個別のめあてをもって縄跳び練習に取り組んでいます。二重跳びや交差跳びなど様々な技を指導者の手本を見ながら、向上心をもって取り組んでいます。

